

日本新生の時代

未来を切り拓く人材とは

2011年11月14日

多摩大学大学院教授

シンクタンク・ソフィアバンク代表

田坂広志

講師略歴

1951年生まれ。1974年、東京大学工学部卒業。

1981年、東京大学大学院修了。工学博士（原子力工学）。

1987年、米国シンクタンク、Battelle Memorial Institute 客員研究員。

同時に、米国国立研究所 Pacific Northwest National Laboratories 客員研究員

1990年、日本総合研究所の設立に参画。

取締役・創発戦略センター所長を務め、現在、日本総合研究所フェロー。

1999年、米国 New England Complex Systems Institute のファカルティ就任。

2000年、多摩大学大学院教授に就任。

2000年、21世紀の社会システムのパラダイム転換をめざす
グローバル・シンクタンク、ソフィアバンクを設立。代表に就任。

2003年、社会起業家フォーラム（JSEF）を設立。代表に就任。

2005年、米国 Japan Society より、US-Japan Innovators に選ばれる。

2008年、ダボス会議を主催する World Economic Forum の
Global Agenda Council のメンバーに就任。

2010年、4人のノーベル賞受賞者が名誉会員を務める
世界賢人会議 Club of Budapest の日本代表に就任。

2011年3月から9月、内閣官房参与として

原発事故対策、原子力行政改革、原子力政策転換に取り組む。

著書は60冊余。現在、海外でも旺盛な出版と講演の活動を行い、

Philosopher and Poet としての独自のスタイルで国際的な活動を展開している。

未来を切り拓く人材とは

未来を切り拓く人材とは、いかなる人材か
その問いに答えるために必要なこと
未来は、いかなる社会になっていくのか

これから我々の生きる社会は、いかなる社会になっていくのか
「知識社会」 (Knowledge Society)

では、「知識社会」とは、いかなる社会か
「知識社会の逆説」

「知識社会」とは「知識」が価値を失っていく社会

「求められる人材」と「活躍する人材」の違い
「専門的な知識」から「職業的な智慧」へ
「ナレッジ・ワーカー」 (知識労働者) から「プロフェッショナル」へ

書物や学校で「高度な専門知識」を身につけた「ナレッジ・ワーカー」
永年の経験を通じて「職業的な智慧」を身につけた「プロフェッショナル」

歴史は繰り返す

知識社会以前の二つの社会で起こったことが、また、起こる

「求められる人材」と「活躍する人材」の変遷

「工業社会」

「工場労働者」 (ブルーカラー) と「事務労働者」 (ホワイトカラー)

「情報社会」

「事務労働者」 (ホワイトカラー) と「知識労働者」 (ナレッジワーカー)

「知識社会」

「知識労働者」 (ナレッジ・ワーカー) と「プロフェッショナル」

これから時代のプロフェッショナルの進化

知識社会において「活躍する人材」
「プロフェッショナル」

では、「未来を切り拓く人材」とは、いかなる人材か
進化する「プロフェッショナル」

これからの時代の「プロフェッショナル」は
どのような「進化」を遂げていくのか

これから起こる「プロフェッショナルの知」の
「7つの進化」

「情報社会」の深化とシンクロナイズした
「プロフェッショナルの知」の進化

第1の進化

「言語の知」から「暗黙の知」へ

「言葉で表せる知識」（言語知）を伝える能力から

「言葉で表せない智慧」（暗黙知）を伝える能力へ

この進化の準備

「専門的な知識」を身につけた「ナレッジ・ワーカー」から
「職業的な智慧」を身につけた「プロフェッショナル」への進化

「言葉で表せない智慧」を伝える能力

ウェブ2.0の時代

映像、動画、写真、イメージ、音声、音響という非言語情報

「言葉で表せない智慧」を伝えられる時代

では、言葉では、智慧を伝えられないか

「生きた言葉」を語る力

「物語」を語る才能

「言霊」への回帰

第2の進化

「分析の知」から「統合の知」へ

「専門的な分野の知識と智慧を発揮する」能力から

「異分野の知識と智慧を統合する」能力へ

事例

米国サンタフェ研究所での対話

ジョージ・コーエン所長

「スーパー・ジェネラリスト」の時代

事例

スティーブ・ジョブズ

「商品生態系」の発案と創出

「学際的知」や「業際の知」

「インテグレーション」「クロスオーバー」「フュージョン」といった能力

この能力の基本は

「哲学・思想」と「常識的思考」

なぜ、「常識的思考」ができないのか

無意識に忍び込む「バイアス」

「エゴ・マネジメント」という問題

「素直さ」という才能

「透明な感性」という資質

第3の進化

「個人の知」から「集合の知」へ

「個人の持つ知識や智慧」を有効に活用する能力から
「集団の持つ知識や智慧」を有効に活用する能力へ

「様々な有識者の智慧」を集めるだけでなく
「多くの草の根の人々の智慧」を集め、活用する能力

事例

ウェブ2.0の時代

「群衆の智慧」 (Wisdom of Crowds)

「集合的知性」 (Collective Intelligence)

事例

「リナックス」の開発

なぜ、多くの人々が、無償で智慧を出すのか

ふたたび「エゴ・マネジメント」の問題

そして

「志」という条件

「志」と「野心」の違い

「野心」とは、己一代で何かを成し遂げようとの願望

「志」とは、己一代では成し遂げ得ぬほどの素晴らしき何かを

次の世代に託する祈り

多くの人々が感じ取る、その違い

第4の進化

「管理の知」から「創発の知」へ

「すでに世の中に存在する知識や智恵を管理する」能力から

「まだ世の中に存在しない知識や智恵を創造する」能力へ

「ナレッジ・マネジメント」

という発想の限界

「様々な有識者」や「多くの草の根の人々」が集まる場から

「新たな智恵」を生み出していく能力

人々の中での「知の創発」を促す能力

「知の創発」の条件

人間関係のフラットな場

「ビジョン」という触媒

ふたたび「言霊」の力

第5の進化

「理論の知」から「行動の知」へ

「理論としての知識や智恵を語る」能力から

「その知識や智恵を使って行動を生み出す」能力へ

「理論」（セオリー）や「方法」（メソッド）を語るだけでなく

この世の中を変える

「行動」（アクション）や「運動」（ムーブメント）

を起こす能力

「知行合一」の思想への回帰

「行動」とは、最も洗練された認識のスタイル

「行動」の背景にあるもの

「情熱」という才能

「リスク」を恐れぬ心

「魂の声」を聴く力

事例

スティーブ・ジョブズのメッセージ

「生き様」という言葉

一回限りの人生で、何を残すか

「使命」という言葉の真の意味

第6の進化

「理性の知」から「感性の知」へ

「理性を使って考える」能力から

「感性を使って感じる」能力へ

「ロジカル・シンキング」の限界

「複雑系」としての企業、市場、社会

複雑系のマネジメントの要諦

「直観力」の時代

「直観力」の本質は何か

「潜在意識」の力

「潜在意識」のマネジメントへ

その彼方にやってくる

「集合的無意識」のマネジメント

第7の進化

「知能の知」から「知性の知」へ

「問題に正確な答えを出す」能力から

「答えの無い問いを問う」能力へ

「知性」とは、何か

「知能」とは対極にある能力

「答えの無い問い」を問う力

「永遠の問い」を前にして

哲学の最も深遠な問い

「なぜ、世界は、ここにあるのか」

「なぜ、自分は、ここにいるのか」

世界は、あなたであり

あなたは、世界である

(J. クリシュナムルティ)

了

ご静聴ありがとうございました。
この講演の内容について、さらに詳しく知りたい方は、拙著、

『自分であり続けるために』
『これから何が起こるのか』
『プロフェッショナル進化論』
(いずれもPHP研究所)

などを、お読みください。

また、講師へのご意見やご感想をお送りになる方は、
個人メールアドレス tasaka@hiroshitasaka.jp までお送りください。

講師のメッセージ・メール「風の便り」の送付を希望される方は、
個人サイト「未来からの風」 <http://www.hiroshitasaka.jp> をご覧ください。

講師の他の講演を聴かれない方は 「ソフィアバンク・ラジオ・ステーション」
www.sophiabank.co.jp をお聴きください。